

## 平成29年度(一財)山形コンベンションビューロー事業報告

### □ 活動の概要

コンベンションの開催状況としては、温泉MICE※として誘致した「ICEP(アイセップ)2017エレクトロニクス実装国際会議(約350人)」をはじめ4件の国際会議や「第53回日本胆道学会学術集会(約1,000人)」の全国大会が28件開催されました。東北大会などブロック規模の開催を加えた年間の開催総数は67件、参加者総数15,976人となりました。

※温泉MICE:温泉ホテルを会場にした山形らしい国際会議の開催手法

コンベンションの誘致及び支援事業においては、国際規模と全国規模それぞれ1件の主催キーパーソンを招請し、会場施設や周辺観光地などを視察していただきました。その結果、全国規模1件が開催決定し、1件は前向きに検討していただいています。

また、東京で開催された「第27回国際MICEエキスポ」と「東北地区MICE誘致懇談会」に出展し、村山広域圏のコンベンション開催環境をPRしました。その後、個別に首都圏の学会・協会本部やキーパーソンへの訪問活動を行いました。開催されたコンベンションに対しては、開催助成金や国際会議のアトラクションの支援をはじめ、主催事務局をサポートし、山形らしい大会になるよう支援を行いました。

コンベンションに関する調査及び広報事業においては、温泉ホテルで開催された国際会議を対象に経済波及効果を測定し、あらためてコンベンションによる経済効果を明らかにしました。

また、コンベンション主催者に向けた広告を地元紙等マスメディアや山形大学広報誌に掲載し、コンベンション開催に向けた働きかけを行いました。

山形国際交流プラザ管理運営事業では、展示会、研修会等で2,467件の貸出しを行い、来場者数は約47万人となりました。また、昨年度に引き続き開催した山形ビッグウイングフェスティバルでは、19,300人の方から来場をいただくことができました。

事業別活動状況については、次のとおりです。

## □ 事業別活動状況

### 1 コンベンションの誘致及び開催支援事業

地元の主催団体や首都圏等の学会・協会本部等を訪問する誘致活動を継続実施するとともに、過去の訪問先やグローバル都市連携によるデータを整理し誘致活動に活かした。

また、支援活動では主催事務局をサポートし、宿泊助成金や貸切バスを支援するとともに、地元業者の紹介など幅広く支援活動を行った。

#### (1) 誘致事業

平成29年度に開催が決定した主なコンベンション

開催年度	会期	開催名称	開催場所	参加者数	うち 県外者数 (外国人)	規模
2018 年度	7/7～10	The 11th International Shibori Symposium 2018 in JAPAN (第11回国際絞り会議 2018JAPAN)	東北芸術工科大学	300人	150人 (150人)	国際
	10/19	第66回精神保健福祉全国大会	山形テルサ	500人	200人	全国
	11/14～15	第56回飛行機シンポジウム	山形テルサ	450人	430人	全国
	11/19～21	2018年度秋季(第96回)低温工学・超電導学会	山形テルサ	450人	400人	全国
2019 年度	10/19～20	第6回北海道・東北臨床工学会	山形テルサ	500人	400人	ブロック
2020 年度	6/17～21	国際色素細胞会議 (IPCC2020)	山形テルサ	550人	250人 (280人)	国際
	7/18～19	第43回(公社)日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会	山形テルサ	400人	150人	全国

#### ① 誘致訪問活動状況

首都圏・仙台圏などの学協会本部・キーパーソン等26団体延べ27回訪問  
村山広域圏内での誘致活動25団体 延べ59回訪問

#### ② MICE誘致商談会への参加

##### (ア) 第27回国際MICEエキスポ (IME2018)

期 日 平成30年2月28日(水)

場 所 東京都 京王プラザホテル

参加団体 77団体 82ブース

来場者 首都圏在住の学会事務局等 469人

山形ブース商談数 16団体 22人

##### (イ) 平成29年度東北地区MICE誘致懇談会

期 日 平成29年12月11日(月)

場 所 東京都 都市センターホテル  
 参加団体 東北地区コンベンション推進協議会会員（17団体）  
 来 場 者 首都圏在住の学会事務局等（32団体 54人）  
 山形ブース商談数 9団体

③ グローカル都市連携

国際会議の誘致に積極的に取り組んでいる地方の都市ビューロー4団体が国際会議データの共有化を図り、約200件のデータベースから山形開催の可能性を探り、約70団体に対しDMを送付するとともに、5団体を訪問した。

④ 主催キーパーソンの招請

(ア) 会議名称 IEEE/ACIS（国際計算機情報科学会）

視 察 日 平成29年6月29日（木）～7月1日（土）

会 場 天童温泉（天童市）

参加予定 約200人（うち海外から100人）

予定会期 2020年5月～6月 3日間

(イ) 会議名称 第56回飛行機シンポジウム

視 察 日 平成29年7月10日（月）・11日（火）

会 場 山形テルサ（山形市）

参加予定 約450人（うち県外から430人）

会 期 平成30年11月14日（水）～16日（金）

(2) 開催支援事業

① 支援訪問活動状況

首都圏・県内域外への支援訪問活動 11団体 11回訪問

地元各種団体等 72団体 延べ193回訪問

ビューローが支援した団体(主催者)数

開催年度	開催予定件数	参加者総数	支援総数(※)	参加者総数
2017年度	67件	15,976人	57件	14,731人
2018年度	54件	17,783人	53件	17,783人
2019年度	19件	18,470人	7件	6,140人
2020年度	4件	1,950人	2件	600人
計	144件	54,179人	119件	39,254人

※開催予定件数のうちビューローが支援している件数。

② コンベンション開催用貸切バスの支援

[9件総額：808,960円]

開催名称	主会場	参加者数	交付実績
ICEP2017 エレクトロニクス実装国際会議	ほほえみの宿滝の湯	343人	100,000円
第66回日本口腔衛生学会・総会	山形テルサ	1,002人	76,760円
ICS2017 第8回国際アウトウシンポジウム	山形テルサ	245人	100,000円
日本文化財科学会第34回山形大会	東北芸術工科大学	400人	100,000円
第20回大学博物館等協議会・第12回 日本博物科学会	山形大学小白川キャン パス	107人	100,000円
第48回全国ばら切花研究大会 山形 大会	ほほえみの宿滝の湯	200人	100,000円
第43回固体イオニクス討論会	ほほえみの宿滝の湯	220人	35,000円
平成29年度第39回全国都市清掃研 究・事例発表会	山形テルサ	584人	100,000円
日本医療コンフリクト・マネジメント学 会第7回学術大会	山形テルサ、山形大学医 学部 交流会館	272人	97,200円

③ コンベンション開催助成金

[10件総額：6,461,500円]

開催名称	主会場	参加者数 (交付対象)	交付実績
ICEP2017 エレクトロニクス実装国際会議	ほほえみの宿滝の湯	343人 (国内243人 国外98人)	844,000円
第66回日本口腔衛生学会・総会	山形テルサ	1,002人 (899人)	1,348,500円
ICS2017 第8回国際アウトウシンポジウム	山形テルサ	245人 (国内50人 国外90人)	570,000円
日本文化財科学会第34回山形大会	東北芸術工科大学	400人 (国内341人 国外7人)	550,000円
第6回内視鏡下耳科手術ハンズオンセ ミナー in 山形	山形医学交流会館	103人 (国内68人 国外15人)	184,500円
第26回日本パーソナリティ心理学会	東北文教大学	242人 (国内231人 国外2人)	357,500円
第53回日本胆道学会 学術集会	山形テルサ	1,030人 (588人)	882,000円
コンピュータセキュリティシンポジウ ム CSS2017	山形国際ホテル	733人 (600人)	900,000円
第43回固体イオニクス討論会	ほほえみの宿滝の湯	220人 (200人)	300,000円
平成29年度第39回全国都市清掃研 究・事例発表会	山形テルサ	584人 (350人)	525,000円

- ④ 山形空港、山形駅、天童駅に歓迎看板を掲示  
25件の国際規模・全国規模のコンベンションに対し歓迎看板を掲示した。
- ⑤ コンgressバッグやネームホルダーの提供  
会議主催者が参加者に配布するコンgressバッグを、29件の主催者に合計7,495袋を有償支援した。また、33件の主催者にネームホルダー提供による支援を行った。
- ⑥ 主催者向け便利ツール（地図・写真等）の提供とその他の支援  
主催者向け便利ツールや山形県や開催地が制作する観光パンフレットを提供するとともに「山形紹介DVD」の貸出を行った。

## 2 コンベンションに関する調査及び広報事業

温泉MICE開催における経済波及効果を測定した。また、山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」のWeb版の制作や、スマートフォン用アプリ「やまがたMICEなび」など情報通信技術関連ツールも活用した。

### (1) 調査事業

- ① コンベンション開催情報の収集と開催意向の調査  
大学・行政・各種団体・施設309件に対し調査を実施  
情報提供 延べ25件
- ② コンベンションネットワーク会議の開催  
期 日 平成29年10月27日（金）  
場 所 東根市 公益文化施設「まなびあテラス」  
内 容 情報交換  
コワーキングスペース“C&Cひがしね”取組紹介  
まなびあテラス見学
- ③ コンベンション地図、交通アクセス・データの調査更新  
主催者向けコンベンション地図・交通アクセス等データを更新し提供した。
- ④ 各種会議への参加（主なもの）
  - ・平成29年度  
(一社)日本コンgress・コンベンション・ビューロー（JCCB）総会  
期 日 平成29年6月12日（月）  
場 所 東京都 京王プラザホテル

- ・平成29年度第1回JCCBコンベンション・ビューロー部会  
期 日 平成29年7月20日(木)・21日(金)  
場 所 北見市 ホテル黒部
- ・平成29年度東北地区コンベンション推進協議会定例総会  
期 日 平成29年9月7日(木)・8日(金)  
場 所 青森市 青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸
- ・平成29年度第2回JCCBコンベンション・ビューロー部会  
期 日 平成29年12月7日(木)  
場 所 高知市 高知会館

⑤ 国際会議開催時の経済波及効果測定

- ・調査対象 ICEP2017 (エレクトロニクス実装国際会議)  
参加者総数 341人 (うち国外参加 89人、県外参加252人)  
会 期 平成29年4月19日(水)～22日(土)  
会 場 天童温泉 ほほえみの宿滝の湯
- ・経済波及額  
全国 108百万円 山形県 45百万円 天童市 32百万円

※観光庁作成の「MICE開催による地域経済波及効果測定モデル」を使用

(2) 広報事業

① ホームページやSNSによる情報発信

ホームページ、やまがたMICEなび(無料アプリ)やFacebookなどのSNSを活用し村山広域圏の情報を発信した。また、ホームページをリニューアルすることにより、パソコンのみならずスマートフォンやタブレットなどでの閲覧に対応させた。

※「やまがたMICEなび(無料アプリ)」とは、コンベンションの参加者(旅行者)や主催者用のコンテンツで構成した、スマートフォン、タブレット用のアプリケーション。

② 山形おもてなしガイド「ウマイベヤマガタ」の企画・制作および配布

コンベンション参加者に飲食店、宿泊、観光などを紹介。

制作部数 50,000部

サイズ等 縦200mm×横95mm×厚さ約4mm フルカラー129頁

広告掲載店 187店(397枠)

- ③ ビューロー紹介パンフの増刷配布  
主催者にビューローの支援内容を紹介するためのパンフレットを増刷し配布した。
- ④ J R山形駅自由通路ショーケースの活用による広報  
J R山形駅東西自由通路アピカ・ショーケースを活用し、カレンダーの掲示や支援コンベンションのポスターを掲示するなどし、開催されるコンベンションを周知した。
- ⑤ プラザ内、村山広域圏観光物産展示コーナーへの常設展示  
山形国際交流プラザ内村山広域圏観光物産展示コーナーでの観光・物産の紹介をした。
- ⑥ 機関紙「ルネッサンス」の発行（年2回）  
年2回（7月、1月）発行し、ビューロー活動の周知を図るとともに、賛助会員の紹介等を行った。
- ⑦ 山形のM I C E環境P Rポスターの作成・配布  
国際会議主催者向け温泉M I C EのP Rポスターを制作し、首都圏の大学・研究機関や東北大学、山形県内の大学等352件にダイレクトメールとして送付した。
- ⑧ ホームページによる7市7町動画配信  
7市7町の協力のもと、ご当地P R動画を集めたページを作成、村山広域圏の広報を行った。
- ⑨ マスコミ等を活用した広報
- ・新聞への広告掲載 3回
  - ・テレビCM 1局
  - ・山形大学広報誌への広告掲載 2回
  - ・山形空港での電飾看板の掲示
- 山形空港の到着口に電飾看板を掲示しビューローの広報を行った。

### 3 山形国際交流プラザの管理運営事業

#### (1) 平成29年度の利用状況など

統計は過去5年の平均程度の実績となった。

① 利用件数 (単位：件)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度
展示棟	131	137	133
会議棟	2,264	2,158	2,327
その他	72	62	63
合計	2,467	2,357	2,523

② 来場者数 (単位：人)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度
来場者数	461,370	511,908	422,135

開館以降来場者数累計 16,051,627人

③施設利用料 (単位：円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度
利用料	166,626,864	191,830,590	158,757,699

(2) 安全安心の確保

災害時等に備えた「危機対応マニュアル」を改訂整備し、緊急時に迅速な対応が取れるよう体制づくりを図った。

また、職員（委託業務従事者を含む）を対象にAED使用方法講習会の実施や外部団体主催の研修会等へ参加した。

(3) 適切な維持管理及び利用者への満足感の提供

身障者用トイレにオストメイト設備の設置や、正面出入口の段差補修等バリアフリーの推進に努めた。また、施設や設備等に不具合が生じた場合は適切な補修を行い、利用者へ支障がないよう配慮すると共に、施設内照明を段階的にLED化するなど、節電や省エネにも努めた。

① 利用者情報交換会の開催

利便性の向上並びにプラザの利用促進を目的として、主催者から利用時における要望や意見等を伺い、改善できるものについては速やかに対応した。

期 日 平成29年12月15日（金）

場 所 山形国際交流プラザ会議室

参加者数 15人



## ② モニタリングの実施

施設を利用された主催者及び来場者を対象にアンケート調査を実施した。それらにより得た要望などについては、できるものから対応し、リピーターの確保に努めた。

〈主催者対象〉

調査期間 平成29年9月1日～30日  
配布枚数 154枚（回収率：55.2%）

## ③ 全国展示場連絡協議会の運営

当施設が平成28年度同協議会会長施設となっており、平成29年度は総会を山形市で開催し、全国42施設から参加をいただいた。

〈総会〉

期 日 平成29年5月18日（木）・19日（金）  
場 所 山形市 ホテルメトロポリタン山形

〈実務担当者会議〉

期 日 平成29年10月19日（木）・20日（金）  
場 所 大阪府 マイドームおおさか

〈北海道・東北ブロック会議〉

期 日 平成29年10月26日（木）  
場 所 山形市 山形国際ホテル

## （４）自主事業の実施

### ① 山形ビッグウイングフェスティバルの開催

この催事は、平成26年に山形ビッグウイング開設20周年を記念して行われたもので、この度で4回目の開催となった。

「食」をテーマとした村山広域圏（7市7町）うまいものフェアを開催し、物産品・名産品等の販売やPRを行った。

共催事業として、山形市伝統的工芸品まつり、みちのくこけしまつりを開催した。

期 日 平成29年11月18日（土）・19日（日）  
場 所 山形国際交流プラザ 展示場1234  
来場者数 19,300人

### ② 山形国際交流プラザ館長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催

国際交流広場の利用拡大及び市民の健康増進を図ることを目的に、山形市

グラウンド・ゴルフ協会の協力を得て行った。

期 日 平成29年6月23日（金）

場 所 山形国際交流プラザ 国際交流広場

参加者数 267人

③ 地場産業紹介コーナーの設置

地元産業の振興を図ることを目的として、プラザ1Fエレベーター前の展示コーナーに「山形市美と技の伝統工芸」と題し、山形張子などの展示を行った。

④ 子どもの映画教室の開催

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーの利用促進並びにPRを目的とし、認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭の協力を得て実施した。小中高校生を対象に手書きのフィルムで映像を作成し、出来上がった作品の上映等を行った。

期 日 平成30年3月21日（水）

場 所 山形国際交流プラザ 試写室他

参加者数 20人

(5) 利用促進に向けたセールス活動等の実施

プラザの利用拡大を目的に、主に県外利用者や過去の利用者、類似施設を使用している主催者等を訪問した。また、DMを発送するなどプラザのPRに努めた。

## 4 総務

### (1) 理事会・評議員会等

① 監事監査

開催日 平成29年4月24日（月）

開催場所 山形国際交流プラザ

監査内容 平成28年度事業報告等、平成28年度計算書類等、平成28年度公益目的支出計画実施報告

② 第1回通常理事会

開催日 平成29年5月23日（火）

開催場所 ホテルメトロポリタン山形

決議事項 平成28年度事業報告及び同附属明細書の件、平成28年度計算書類及び同附属明細書の件、平成28年度公益目的支出

計画実施報告の件、評議員会の日時及び場所の件、評議員会の目的事項の件

報告事項 平成29年度業務執行状況の件

③ 定時評議員会

開催日 平成29年6月8日（木）

開催場所 山形国際ホテル

報告事項 平成28年度事業報告の件、平成28年度公益目的支出計画実施報告の件

決議事項 平成28年度計算書類の件、評議員、理事、監事の選任の件

④ 第2回通常理事会

開催日 平成30年3月22日（木）

開催場所 山形グランドホテル

報告事項 平成29年度第1回理事会以降の事業執行状況の件、給与規程一部改正の件

決議事項 平成29年度収支補正予算の件、平成30年度事業計画の件、平成30年度収支予算の件

(2) 人材育成

組織形成や専門的な知識を深めることを目的とし、各種研修に参加し職員の能力開発を図った。

主なもの

① 営業基礎研修

期 日 平成29年11月30日（木）

場 所 仙台市 インソース東北支社セミナールーム

② 全国公益法人協会講習会

期 日 平成30年1月18日（木）・19日（金）

場 所 東京都 全国町村議員会館

(3) 自衛消防総合訓練の実施（年2回）

消防法で定められた自衛消防総合訓練を、財団職員と常駐委託業者が一体となって実施した。

期 日 1回目 平成29年 6月22日（木）

2回目 平成29年12月13日（水）

#### (4) 各部門の収支概要

##### ① コンベンション・総務部門

収入	57,223,679円(A)
支出	54,674,935円(B)
当期収支差額 (A) - (B)	2,548,744円(C)
前期繰越収支差額	13,255,774円(D)
次期繰越収支差額 (C)+(D)	<b>15,804,518円</b>

##### ② ビッグウイング部門

収入	217,514,900円(A)
支出	246,925,000円(B)
当期収支差額 (A) - (B)	△29,410,100円(C)
前期繰越収支差額	61,111,370円(D)
次期繰越収支差額 (C)+(D)	<b>31,701,270円</b>

##### ③ 全体

収入	274,738,579円(A)
支出	301,599,935円(B)
当期収支差額 (A) - (B)	△26,861,356円(C)
前期繰越収支差額	74,367,144円(D)
次期繰越収支差額 (C)+(D)	<b>47,505,788円</b>